

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	コミュニケーション学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	侍留 慶子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの概念・理論を理解し、看護師として医療の現場で効果的かつ適切なコミュニケーション行動を展開できるよう、演習(グループディスカッション・ロールプレイング)を通じて、コミュニケーションスキルを身につける。</li> <li>・医療専門職の一員として、多職種との協働・連携を図るためのコミュニケーションマナーの重要性を学び、社会人に必要とされる基礎能力を身につける。</li> </ul>						
《成績評価の方法と基準》						
演習、出席ならびに課題提出状況、実技・筆記試験で総合的に評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
授業時配布資料 参考図書は随時紹介						
《授業外における学習方法》						
学習内容を日常生活の中で活用し、自己洞察を深めつつ技術を高めていく						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. コミュニケーションの基本知識について説明できる	授業時配布資料	授業配布資料の見直し 学んだことを日常生活で 実践してみる	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションの概論 コミュニケーションの基本概念 コミュニケーション能力向上のための基本知識			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 非言語コミュニケーションについて説明できる	授業時配布資料	授業配布資料の見直し 学んだことを日常生活で 実践してみる	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションの基本 非言語コミュニケーションについて 第一印象の3要素			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. コミュニケーションの基本について演習を通して説明できる	授業時配布資料	授業配布資料の見直し 学んだことを日常生活で 実践してみる	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションの基本 非言語、言語コミュニケーション(トレーニング)			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 相手に伝わるコミュニケーション技術について実施できる 2. 正しい言葉使いの必要性とその例について説明できる	授業時配布資料	授業配布資料の見直し 学んだことを日常生活で 実践してみる	
		各コマにおける授業予定	伝わる伝え方、具体的な表現方法 正しい言葉使い 敬語の使い方、演習			
第5回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. アサーティブなコミュニケーションのあり方についてシミュレーションできる	授業時配布資料	授業配布資料の見直し 学んだことを日常生活で 実践してみる	
		各コマにおける授業予定	相手に配慮した伝え方(アサーティブコミュニケーション) グループワークでの演習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1.ラポール形成に必要なスキルについて説明できる	授業時配布資料	授業配布資料の見直し 学んだことを日常生活で実践してみる
		各コマにおける授業予定	ラポール(信頼関係)形成のスキル 肯定的表現方法		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. チームワーク力を高めるコミュニケーションについて説明できる	授業時配布資料	授業配布資料の見直し 学んだことを日常生活で実践してみる
		各コマにおける授業予定	自己盲点と対応策 チームビルディングとは コンセンサス(合意形成)の演習		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. アンガーコントロールの基本について説明できる	授業時配布資料	授業配布資料の見直し 学んだことを日常生活で実践してみる
		各コマにおける授業予定	感情のコントロール(アンガーマネジメント) 怒りの感情に振り回されないための感情コントロール法		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. ABC理論について説明できる	授業時配布資料	授業配布資料の見直し 学んだことを日常生活で実践してみる
		各コマにおける授業予定	価値観の違いを知る(グループワーク) 多様性を認めるための思考法 思考と感情(ABC理論)		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 職場におけるコミュニケーションにおいて重要な点について述べる ことできる	授業時配布資料	授業配布資料の見直し 学んだことを日常生活で実践してみる
		各コマにおける授業予定	職場におけるコミュニケーションマナー 職場における人間関係、職場のマナー、ビジネスコミュニケーション (報連相)		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. アクティブリスニングの基本について説明できる 2. アクティブに相手の話を聴く技術を実践できる	授業時配布資料	授業配布資料の見直し 学んだことを日常生活で実践してみる
		各コマにおける授業予定	信頼される聴き方(アクティブリスニング) 信頼とは、聴き方の3原則 リスニングスキルの実践(ペアワーク)		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 文字コミュニケーションを実践的に活用できる	授業時配布資料	授業配布資料の見直し 学んだことを日常生活で実践してみる
		各コマにおける授業予定	ビジネスコミュニケーションツールの知識 ビジネス文書の基本ルール ビジネスメール(eメール)		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 自己開示のために必要なことについて述べる ことができる	授業時配布資料	授業配布資料の見直し 学んだことを日常生活で実践してみる
		各コマにおける授業予定	人間関係構築のための自己開示 自己開示のための自己分析、自己理解、ジョハリの窓、エゴグラム		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 相手にわかりやすいプレゼンテーション ができる	授業時配布資料	授業配布資料の見直し 学んだことを日常生活で実践してみる
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション 1分間スピーチ(自分の強み、目標とする看護師像について)		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1. 正しい日本語を用いて、レポート作成 ができる	授業時配布資料	レポート作成
		各コマにおける授業予定	正しい日本語の知識 評価課題レポート作成(総まとめ)		